

《担当者名》教授 / 小林 道也

【概要】

臨床でよく使用されるのは抗菌薬のPK-PDパラメータでAUC/MIC、AUIC、 $t > MIC$ 、 C_{max}/MI (C_{peak}/MIC) などがある。本講義では、抗菌薬を例にPK-PD理論の最新の知見を修得する。

【学修目標】

- ・PK-PDの目的を理解し、臨床への応用について説明できる。
- ・PK-PDパラメータの特徴などについて理解し、抗菌薬の投与設計について説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|----------------|--|-------|
| 1 | PK-PDの基礎 | PK-PD研究について学び、目的などについて説明できる。 | 小林 道也 |
| 2 | 抗菌薬のPK-PD | 抗菌薬のPK-PDについて説明できる。 | 小林 道也 |
| 3 | PK-PDパラメータ 1 | PK-PDパラメータ (AUC/MIC、AUIC、 $t > MIC$ 、 C_{max}/MIC など) について説明できる。 | 小林 道也 |
| 4 | PK-PDパラメータ 2 | PK-PDパラメータの目標値について説明できる。 | 小林 道也 |
| 5 | 抗菌薬各論 1 | ラクタム系薬のPK-PDパラメータについて説明できる。 | 小林 道也 |
| 6 | 抗菌薬各論 2 | マクロライド系薬、フルオロキノロン系薬のPK-PDパラメータについて説明できる。 | 小林 道也 |
| 7 | 抗菌薬各論 3 | アミノグリコシド系薬、グリコペプチド系薬のPK-PDパラメータについて説明できる。 | 小林 道也 |
| 8 | 耐性菌とPK-PDパラメータ | PK-PDに基づいて細菌の薬剤耐性を解析する試みなどについて説明できる。 | 小林 道也 |
| 9 | 抗菌薬のTDM 1 | TDMが必要な抗菌薬の基礎知識について説明できる。 | 小林 道也 |
| 10 | 抗菌薬のTDM 2 | TDMが必要な抗菌薬の基礎知識について説明できる。 | 小林 道也 |
| 11 | 抗菌薬のTDM 3 | TDMが必要な抗菌薬の臨床応用例について説明できる。 | 小林 道也 |
| 12 | 抗菌薬のTDM 4 | TDMが必要な抗菌薬の臨床応用例について説明できる。 | 小林 道也 |
| 13 | 抗菌薬のTDM 5 | TDMが必要な抗菌薬の臨床応用例について説明できる。 | 小林 道也 |
| 14 | 抗菌薬のTDM 6 | TDMが必要な抗菌薬の臨床応用例について説明できる。 | 小林 道也 |
| 15 | 抗菌薬のTDM 7 | TDMが必要な抗菌薬の臨床応用例について説明できる。 | 小林 道也 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席・受講態度（50%）と課題・レポートの評価（50%）により成績を評価する。

【教科書】

戸塚恭一監修 「日常診療に役立つ抗菌薬のPK/PD」 ユニオンエース

【参考書】

唯野貢司他編集 「TDM実践ハンドブック」 薬事新報社
日本化学療法学会、日本TDM学会 「抗菌薬TDMガイドライン」

【学修の準備】

各項目の関連用語などについてよく理解しておく必要がある。